

計画事業番号	00272	事務事業名	文化賞・スポーツ賞表彰事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	---------------	------	--------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市文化賞等表彰規則・スポーツ賞等表彰規則			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 7 節)	芸術文化の振興
	(施策 1)	個性豊かな地域文化の振興
2 対象	文化賞等は、北広島市の文化の向上発展のため、優秀な文化活動により、文化の普及振興に寄与した者。スポーツ賞等は、スポーツ大会において優秀な成績を収めた者及びスポーツの振興に寄与した者。	
3 目的と内容	【事業概要】 11月3日の文化の日に、優秀な芸術文化活動、スポーツ活動を行う市民(成人・青少年)や団体の顕彰を行う。 【事業目的】 優秀な芸術文化活動、スポーツ活動の顕彰を通じ、市民の芸術文化活動、スポーツ活動に対する意欲の向上を高めるとともに、心豊かな生活の一助になることを目的とする。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	北広島市文化賞、スポーツ賞等表彰式を行った。
	29年度	北広島市文化賞、スポーツ賞等表彰式を行う。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
文化賞、スポーツ賞等表彰式の開催	文化賞、スポーツ賞等の表彰式の開催 文化奨励賞1件、青少年文化賞3件、青少年文化奨励賞3件、 スポーツ賞8件、ジュニアスポーツ賞5件、ジュニアスポーツ奨励賞8件、スポーツ功労賞3件	文化賞、スポーツ賞等表彰式の開催	文化賞、スポーツ賞等表彰式の開催	文化賞、スポーツ賞等表彰式の開催

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。市民の芸術文化活動、スポーツ活動を振興するため事業を継続することが必要である。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			596		670		739		739	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	596		670		739		739	
		① 合計	596		670		739		739	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			1,436		1,510		1,579		1,579	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	① 表彰者数	目標値	件	30		30		30		30	
		実績値		31							
	②	目標値									
		実績値									
③	目標値										
	実績値										
④	目標値										
	実績値										
成果指標	①	目標値									
		【指標の定義(算式等)】 実績値									
	②	目標値									
		【指標の定義(算式等)】 実績値									
	③	目標値									
		【指標の定義(算式等)】 実績値									

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・市として文化活動やスポーツ活動において顕著な成績を残した方や地域において功績のあった方々を顕彰することは、市民の大きな励みとなることから事業を継続することは妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・表彰を受ける市民が、例年一定数推薦されていることから、制度について浸透している。 ・受賞者は、表彰後もそれぞれの領域で活動を継続されており、文化・スポーツの振興に寄与している。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	・文化賞、スポーツ賞等については、市民に定着していることから、一定の基準に基づき継続していくことが必要である。 ・受賞者の活動成果を、市民に周知するほか、地域の活動に還元されている。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	・文化賞、スポーツ賞等はそれぞれ規則に基づき、関係付属機関の答申に基づき表彰を決定している。 ・表彰式の内容を見直し、コストの削減を図っている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---